



加太春日神社旬報

師走睦月

平成22年
12月25日発行
第0002号

今月のお宮ニュース

Photo & Text: Yoji Iseki

幟新調

加太春日神社で古くなつた幟二本が、氏子等によつて新調され、十二月十八日(土)祓い清められました。

今回新調された幟二本は、白地に黒い文字で「奉納 加太春日神社 氏子中」と染め抜かれたもので、神社のお祭りがある度に二の鳥居掲げられていましたが傷みがひどくなつたため新しく作り替えられました。
真新しくなつた幟は、早速氏子等の手によつて正月準備の飾り付けと共に一の鳥居に立てられます。



大麻暦頒が終わり、お宮の年末行事は大晦日の除夜祭(庭火の神事焼納祭)と年明けの歳旦祭、九日からの初戎と続きますので、是非お詣りの時に新調なつた幟をご覧下さい。

なお、大晦日の夜は、今年も境内で年越しそばやフランクフルトソーセージ、また熱々の揚げたてコロッケを販売する予定となっております。

卯年も一杯二喜
年越しそばは
加太春日神社で
コロッケ70円 フランクフルト100円
平成二十二年大晦日 夜十時から 売り切れ御免 愛郷会

お知らせ

椰の木はマキ科の常緑高木で春日大社の境内に非常に沢山あり、ナギは風に通じるところから海の安全を願い、当社の境内にも植えました。



椰(なぎ)の木植樹

神社の歴史

加太春日神社について第2回目は、当神社の社宝と文化財についてご紹介いたします。
社宝は、棟札26枚、古鏡6枚となっておりますが、棟札の内14枚は本殿と共に国の重要文化財に指定されています。
当社の本殿は、華麗な装飾が施され、周りを取り囲むようにはめ込まれた緻密な彫刻が桃山時代の(1596年頃)特徴をよく表していますが、社殿造営からの年代の書かれた棟札14枚が、戦前は国宝と

古鏡が二箱も



して、戦後は国指定重要文化財として大切に保存されてきました。
皆さんも、いにしへの加太の人々が現在まで大切に守り伝えてきた地元のお宝をもつと身近に感じ取って頂けたらと思います。
ー続く

公式ホームページ <http://www.hir.ne.jp/~omiya/>

■編集後記:

天候も世の中もヒート気味で波乱含みのこの一年、過ぎてみれば苦労もまた楽しかったことに変化してゆきます。さて、まもなくやってくる新たな年はどうなる年となるのでしょうかね、一緒に楽しみましょう。



〒640-0103 和歌山市加太 1343
加太春日神社社務所
Tel:Fax. 073-459-0368, 2262
mail: maxspeed@iris.eonet.ne.jp